



とうきょう すくわくプログラム

2025年度活動報告書

小平花小金井雲母保育園



テーマ【 言葉・異文化の探究 】

設定した理由・背景

園で導入している英語プログラムを通して講師の住んでいる外国や異文化について興味を持った子ども達の関心をさらに深めるため。

用意した環境設定

本 英語CD 英語フラッシュカード 世界地図
パソコン プロジェクター スクリーン2台 r 26年3月17日 パソコン

活動のあゆみ

2025年4月～2026年3月

基本毎週水曜日実施 ※振替レッスン有

探求11月～ 5歳児のりもの

探求11月～ 4歳児のりもの

特別レッスン12月 クリスマス

探求2月19日 5歳児 市場

探求2月20日 4歳児 市場

✽探究活動の実績✽

①「フィリピンはどこにあるんだろう」「外国の食べ物は不思議だね」という疑問から問いを設定。

外国にある乗り物や文化について、本や外国人講師との関わりから探究活動を開始した。

②外国人講師による英会話活動の実施、本や英語に関する備品を用意。本、世界地図、音楽を用意し日本語以外の言語や文化に触れやすくなるよう準備した。普段の保育活動に中でも本を見や地図を見て自ら調べる姿が見られるようになった。

③外国の音楽に合わせたダンスを教えてもらい、普段保育活動では違う曲調、振り付けにとっても楽しむ姿があった。また、外国にある乗り物や食べ物、植物などを写真や映像で説明してもらい、初めて見るものに興味津々な様子があった。初めて見る様々な物について、本を使って調べたり、「この国はどこにあるんだろう」「他にどんな食べ物があるのかな」と更なる疑問も生まれた。その疑問は別の本で調べたり、外国人講師に質問をし子どもたちで調査を行った。プログラムを通じて初めて見た・知った異文化は子どもたちにとってとても新鮮だったり、不思議がたくさんあり、興味関心に繋がるものもたくさんあった。

④異文化活動を通して、「英語で〇〇って言うんだよ」と、子ども同士での関わりもたくさん見られ、普段の保育活動でも英語や異文化について話す姿が見られた。初めて知ったことを他のクラス、職員、保護者にも共有し興味関心から発展し活動を行うことが出来た。



英語のダンスをしている様子



先生とのコミュニケーションの様子



体の部位を英語で知る様子

まとめ

1年で聞きとる力や知りたい、何だろうという気持ちが増し、先生や子ども同士のコミュニケーションを楽しめるようになった。知った異文化について、普段の保育活動にも会話や遊びで行う様子が見られた。初めてのものが多いため興味関心も大きく、知りたい！という気持ちから自ら探究する様子も見られた。

異文化の探究を深めて得た知識も多くなったため、そこから更なる興味関心・疑問を今後の活動にも発展させ、引き続き探究活動をしていきたい。



とうきょう すくわくプログラム

2025年度活動報告書

小平花小金井雲母保育園



テーマ【 身近な自然の探究 】

設定した理由・背景

川遊びや散策道で触れる自然をテーマとして設定する。園周辺では感じられない自然と出会い、感じることを言葉や言葉ではないもので表現し、興味関心を深める。年中児は年長児の取り組みから園周辺での自然への興味関心を深める。

用意した環境設定

・画用紙 色鉛筆 スポンジローラーなど

活動のあゆみ

4月～6月 園周辺での探索・自然物集め

7月 押し花づくり

8月 お泊り保育（キャンプ村活動）5歳児

9月 制作などでの表現活動

10月～11月 園周辺での探索・自然物集め

1月 氷作り

3月 調べたことを皆に知らせる

✽探究活動の実績✽

①園周辺にある自然とキャンプ村にある自然の違いを見つけ、「違う虫や葉っぱがあるね」「これはどこにあるんだろう」という疑問から自然をテーマとして設定。

②見つけた植物や生物を調べるための図鑑、観察した自然を記録するための画用紙や色鉛筆を用意。身近な場所に置いておくことで気になる！となった際にすぐに調べられる環境を設定した。図鑑を見る機会も増え図鑑を囲んで子ども同士関わる姿も増えた。

③キャンプ村での活動では、山道・川で様々な自然の発見があった。園周辺で見つけた自然と何が違うのか。初めて発見するもの、園周辺では見られなかった自然は図鑑や本で調べ主にどのような場所で見つかるのかを調べた。「この植物なら〇〇公園にあるかも」と自ら探索する様子も見られた。

キャンプ村の山歩きで発見した葉っぱや石に興味を示し、形や感触を子ども同士伝え合う様子が見られた。

様々な自然を調べる中で、植物や生物には生息地があるということを知り、園周辺の環境で生息している植物・生物、山など園周辺から遠くに生息している植物・生物に興味関心が広がった。様々な場所での探索活動により、植物・生物（虫）だけでなく、鳥にも興味を持ち自ら探究する姿が見られた。発見した鳥を図鑑で調べたが種類が分からなかった際、子ども同士話し合い「作成した紙を貼ろう」や「お父さん・お母さんに聞こう」という意見が出た。お父さん・お母さんに聞いたことで鳥の名前が判明し、図鑑やP Cを使って再度調べたことで、発見した鳥について知ることができレポートを完成させた。

④様々な環境で知った植物や生物について、子ども同士教え合ったり、他クラスの子に話す姿が見られた。活動が続けていく中で、視野も広がり、虫だけでなく鳥に興味も広がり鳥についての記録を作成、他クラスの子たちや職員に共有をするなど発展させながら活動が出来た。



山歩き中の探索活動



川遊び中の探索活動



鳥について：子ども達が調べたこと

まとめ

植物や生物は普段の保育活動でも触れる機会が多いことから、子どもたちの興味関心が活動期間中大きくなっていった。戸外で発見→図鑑で調べるが日常になり、「図鑑で調べよう」「あれ図鑑で見たよ」と知りたいという気持ちもたくさん感じられた。探索する際の視野が広がったことで植物・生物だけでなく、鳥にも興味を示し子どもたちで話し合いながら探究活動をする姿が見られた。テーマに収まらず、見つけたもの全てが子どもにとっては興味関心の対象になるため、子どもたちの声（疑問）をよく聞き、発展させながら活動が続けていきたい。